

3月市議会 報告

3月26日、3月議会が閉会しました。最終日の本会議では、新年度予算への反対討論、TPPへの交渉参加の撤回を求める請願への賛成討論、副市長人事についての質疑を行いました。

3月市議会での主な議案や請願に対する賛否 ○賛成 ●反対

主な議案や請願	共産党	自民党	市民連合	くまもと未来	公明党	自由ク	日本教育
2013年度一般会計予算（新年度予算）	●	○	○	○	○	○	○
食肉センター廃止条例	●	○	○	○	○	退席	○
職員の退職手当の減額についての条例	●	○	○	○	○	○	○
花畑・桜町再開発の審議を行う特別委員会設置	○	○	○	○	○	●	○
消費税増税の中止を求める請願	○	●	●	●	●	●	●
公的医療の崩壊を招くTPPへの参加中止を求める請願	○	●	●	●	●	●	●
龍田出張所の総合出張所への昇格を求める請願	○	●	●	●	●	●	●
住宅リフォーム助成事業の創設を求める請願	○	●	●	●	●	●	●

新年度予算については、上野みえこ議員が、産文会館の取り壊しや隣接する民間用地の買収費用など広場整備に関する予算、MICE施設（2百数十億円）の基本計画策定予算など大型開発への問題点を指摘。一方で、子ども

の医療費助成の拡充や住宅リフォーム助成などの市民の願いには背を向けた予算であることなどを指摘し、反対討論を行いました。また、ますだ牧子議員が、食肉センター廃止条例に反対討論を行いました。

「TPPに参加しないことを求める請願」に賛成討論

安倍首相が交渉参加を表明したTPP。3月議会では、TPPへの参加中止を求める請願が市民から提出され、採択を求めなすまどか議員が賛成討論を行いました。

農業に壊滅的な打撃、医療などの社会保障の崩壊を招く

討論では、TPPが聖域なき関税撤廃を目指すことを米国共同声明で交わしていることを指摘。熊本市の米（62億円のうち20億円の生産額減少）や豚肉（26億円のうち18億円の生産減少）など農業に壊滅的な打撃を与えること。さらに、医

療分野などにアメリカ等の多国籍企業が参入することで、国民皆保険の崩壊や薬価の高騰など、社会保障の崩壊を招くことなどを指摘。交渉参加の撤回を求める意見書を市議会としてもあげるよう採択を求めました。

（控室から）
「暮らしやすさ」実感できますか？
なすまどか

熊本市が政令指定都市に移行して1年が経ちました。市役所正面玄関には、「日本一暮らしやすい政令指定都市くまもと」との看板が大きく掲げられています。「選ばれる都市」をスローガンに、市外・県外からの交流人口を増やすことに重点を置く幸山市政。新年度予算にも、大型会議場建設に向けた予算など「呼び込み型」の中心市街地の再開発推進の予算が提案されました。

一方、地元紙の市民アンケートでは、熊本市に望む声として、「教育・子育て」「福祉」の充実が上位を占めました。低年金・無年金の貧しい暮らし、仕事のない不安な生活、重い税金や国保料の支払いに思い悩む暮らし。こうした市民の生活実態から目をそらさず、困難解決に正面から挑む姿勢が熊本市に最も必要だと感じます。

幸山市長が「選ばれる都市」を本気で目指すのならば、市民が豊かさを実感し、熊本市を生活の場として選んでよかったと「市民から選ばれること」を最優先にするべきです。

都市の魅力は、都市の規模の大小で決まるものではありません。住民自身が豊かさを実感でき、訪れた人々を心から歓迎できる——そんなまちづくりを、市民のみならずと連帯して進めていきたい。新年度を迎え、決意を新たにしているところです。

日本共産党 市議会だより

発行：日本共産党熊本市議団

ますだ牧子 上野みえこ なすまどか

熊本市中央区手取本町1-1 議会棟 ホーム：<http://www.jcp-kumamoto.com/>

NO. 844

2013年4月7日

電話 328-2656

FAX 359-5047

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

くらし・福祉・健康を守ることは自治体の仕事です!

大型「ハコもの」優先に逆戻りした幸山市政 子どもの医療費助成は、周辺自治体で最低

政令市移行2年目になりますが、「政令市になって良かった」という実感がありません。幸山市政になって、さくらカードや家庭ごみ袋、駐輪場の有料化、はり灸マッサージの回数半減、国保・介護保険料引き上げ等、負担増と福祉切り捨てが進んでいます。

一方では、桜町再開発に参加し、300億円もの大型会議場建設を何があっても進めようとしています。熊本市が行った「政令市に関するアンケート」では、今後力を注いでほしい政策の第1位は、「教育・子育て」、2位は、高齢者対策などの「福祉」となっています。

熊本市と鹿児島市との「福祉」等の比較表では、「熊本市の遅れにショックを受けた」との多数の声が寄せられました。子どもの医療費助成制度は、政令市や周辺自治体からも、取り残されたままです。

政令市でも「子ども医療費助成」の入院は中卒までが多数

通院・外来中卒まで：さいたま市、名古屋市、浜松市、堺市
入院のみ中卒まで：札幌市、仙台市、千葉市、川崎市、横浜市
北九州市、神戸市、静岡市、岡山市

	中学3まで無料	小学6年生まで無料	小学3年生まで
自治体名	益城町、菊陽町	合志市、大津町、西原村、山都町	熊本市(医科3歳～、 歯科5歳～月500円)
	嘉島町、甲佐町	同上(自己負担有)	
	玉東町、菊池市 阿蘇市	御船町(小学以上：月1000円) 宇土市(小学以上：入院月2000円、 外来月1000円)	宇城市(小学以上： 入院、月2000円、 外来、月1000円)

「きらりと光る」周辺自治体の取り組み

～熊本市の「子育て支援」は大きく遅れています～

(嘉島町) 子ども議会の要望に応え普通教室にエアコン

- * 中学3年生までこどもの医療費無料化
- * 13年度予算で、「小中学校の普通教室」へエアコン設置

(甲佐町) 子育て支援で定住人口増をめざす

- * 子どもの医療費助成：中学3年生まで無料化
- * 保育料の引き下げ、出産祝い金：第3子以降10万円
- * 定住促進住宅新築助成(土地購入要件により100万円、30万円、15万円)と未就学児童加算(要件により1人10万円・5万円・3万円)

(宇土市) 特定健診無料化で健診率40%を突破

- * 子どもの医療費助成：小学6年生まで助成拡充(10月～)
- * 学童保育料の引き下げ：2人目(半額)、3人目(無料)
- * 保育料の引き下げ(1540万円の引き下げ)
- * 住宅リフォーム助成制度：12年度～1000万円で好評

(南関町) 「住んで良かった」プロジェクト推進中

- * こどもの医療費中学3年生まで無料化、保育料半額
- * 学校給食費補助金：月2000円
- * 誕生祝金：第1子(10万円)、第2子(20万円)、第3子(30万円)
第4子(40万円)、第5子以降(各50万円)